



寺尾地域ケアプラザを中
心に、毎週火曜日、高齢者
ひとり暮らしのお宅へ配食
サービスをしています

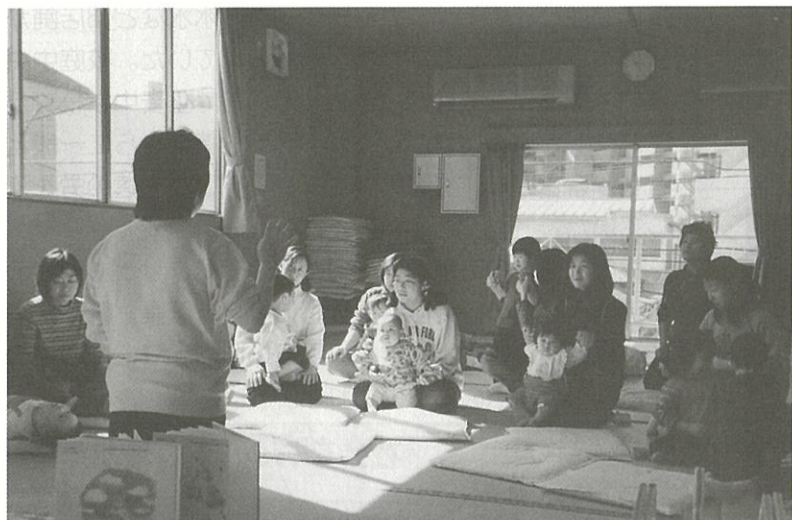
福祉 つるみ

題字：横井 久運氏

第36号 平成13年9月1日発行

編集・発行 社会福祉法人
横浜市鶴見区社会福祉協議会
鶴見区鶴見中央4-32-1
UNEXビル5F
TEL. 504-5619
FAX. 504-5616
印刷 朝日オフセット印刷株式会社

本紙は自治会・町内会のご協力で全世帯に配布しています。



絵本の選び方

場所を決めるにあたり、そばに公園もあり、大変都合
が良いので町内会館に決めました。広報については、パ
ンフレットを
作成し、町会
ごとの回覧、
地区センター
の掲示板、
スーパーなど
での口コミ情
報、また公園
で遊んでいる
方にも声をか
けてきました。
それでも第1
回目が始まる
ときは、何組
の参加者があ
るか本心に心
配でした。

最初なので、遊びを
中心に子ども達が嫌が
らずに入ってきてくれ
ることだけを望んでい
ました。また、外遊び
の計画を立てても、雨
のため、室内遊びに変
更となり大変な時であ
りました。
ボランティアの数も
限られており、主任児
童委員が中心となり、
町内会長・民生委員・
老人会・婦人部などの
ご協力をいただき、何とか一歩を踏み出しました。
月1回では少ないのですが、これからはもっと気軽に
遊びに来てもらえるようにしていきたいです。平成13年
度も引き続き楽しい企画が盛りだくさんで、皆さんの参
加をお待ちしております。



お母さん達の情報交換

子育て支援 パパさんママさんあつまれ

潮見橋地区社会福祉協議会では、平成12年10月から平
成13年3月まで月1回全6回にわたり、潮見橋地区連合
の下野谷1・2丁目会館を会場とし、子育て支援「パパ
さん、ママさんあつまれ」を開催しました。0歳から3
歳までの子育て中の親子を対象に、楽しく遊ぶ場所を提
供し、さらにお母さん達が今の子育てのこと、困ってい
ること、地域の行事などについて話せる場所を作りたい
と思い企画しました。

10月 開講式 地区社協会長挨拶
子育てビデオを見ながら
一緒に話そう
11月 外遊び・砂場に入って遊ぼう
保育士さんと遊ぼう
12月 歯ブラシ指導(保健所の衛生士
絵本の選び方(鶴見図書館職員)
3月 お友達でできたかな?
簡単なおやつを食べながら



上手にできたかな?

スケジュール

あすも

～区社協からのお知らせ～

子育てサポートシステム・ 10月から鶴見区で実施

地域の中で子どもを預けたい人(利用会員)が、預けたい人(提供会員)
に仕事、通院、リフレッシュなどで一時的に預けたり、保育施設への送迎を
頼んだり、支援が必要な時に気軽に依頼できる子育て支援事業です。

おおむね生後57日以上未就学児童を、原則として午前7時～午後7時ま
での間、必要な時間預けることができます。利用会員は提供会員に、おやつ
代などの実費のほか、平日の原則時間内は1時間800円、それ以外は900円で、
1時間を超える場合は30分を単位として半額を支払います。利用・提供等会
員になりたい方は、入会説明会に参加後、会員登録し、月額150円の会費を
支払います。提供会員は満20歳以上の健康な人で、特別の資格は
不要ですが、指定の研修を受ける必要があります。

情報公開制度が スタートしました!

横浜市の情報公開制度・個人情報保護
制度の趣旨に沿って、「社会福祉法
人横浜市鶴見区社会福祉協議会の保有す
る情報の公開に関する規程」並びに「社会
福祉法人鶴見区社会福祉協議会の保有する個
人情報の保護に関する規程」を制定しました。

1. 情報公開制度は、社会福祉法における事業経営の透明性の
確保の規程を目的に盛り込み、市民の知る権利の尊重と、説
明責務を明確にし、文書の開示を求める権利を居住に関係な
く広く何人にも保障しています。
2. 個人情報保護制度は、総合的な個人情報の保護制度を確立する
ため、区社協が保有する個人情報を適正に取り扱うことによって、
信頼性の高い組織運営を行います。

詳しくは、
区社会福祉協議会へ
お問い合わせ下さい。
045-504-5619

編集委員
横井 久運 横山 正志
土屋きみ子 高田 幸雄
簡 照子 椎橋 陸男
山下 順三 青木 洋子
田中雄二郎

善意の寄付をありがとうございました。

*金銭をお寄せいただいた方

平成13年1月1日～平成13年6月30日 ()内は回数です。
阿佐 貞太郎様(6) 樋高 禮子様
工藤 高之祐様(7) 小野 梅子様(2)
杣野 信歩様 森合 正二郎様
白 響子様(6) 成瀬 隆様
竹村 夕子様(3) 小林 彩子様
今井 光郎様 山崎 育子様
平井 洵子様(2) 渡邊 久夫様
亀山 寛様(4) 脇 俊治様
小野 芳太郎様(2) 赤谷 マツ様
中川 きよの様 河西 英彦様
簡 伸治様 麻賀 スミ子様
伊藤 さくゑ様 戸井田 啓治様
貴田 米吉様(2) 匿名(2)
五神 嘉子様
社交ダンスサークル華の会様
(株)サカエ様
鶴見区商店街連合会(角大通り共栄会内朝市)の部様
横浜市寺尾地区センター様
東京電力(株)横浜火力発電所トウイン・ヨコハマ様
鶴見早朝軟式野球連盟様
鶴見薬剤師会様
矢向地区センター社交ダンスグループ連絡会様(2)
矢向棋泉会様
フリマ21様
東芝寺合寮自治会様
金光教生麦教会様
横浜鉄工建設(株)様
ヘルパー研修修了生3期会「ふれあいの会」様
TSURUMIふれあい祭実行委員会様
鶴見区民踊愛好会様
鶴見区自治連合会婦人部様
横浜市寺尾地区センター様
横浜鶴見西ライオンズクラブ様

*物品をお寄せいただいた方

鶴見懇話会様(2)
COOPかながわ鶴見区コープエシヨン実行委員会様
(社)日本盆裁協会横浜支部様
手話ダンスサルビア様(2)
(株)おきなわ物産センター様
LINEX新川崎様
(株)ニユーヨー様
横浜鶴見西ロータリークラブ様
生麦北町南部町会婦人部様
寺尾フラダンス愛好会様
旧鶴見区身体障害者福祉協会様
横浜東部地区連合会様
新日本自動車学校様
本吉地区センターチャリティダンスパーティー様
神奈川土建横浜鶴見支部第24回住宅デー様
横浜市生麦地区センター様
横浜鶴見ライオンズクラブ様
林 康民様 西川 清子様
山本 勝也様 酒井 フク江様
藤原 頼子様 横田 美穂様
長谷川 優様 鈴木 辰三郎様
堤 えり子様 赤木 琴江様
伊藤 基市様 菊池 英雄様
上原 照天様
古光グループ様(7)
手話サークルあいうえお様
横浜鶴見ライオンズクラブ様

いつでも寄
付を承って
います。



平成12年度一般会計決算

収入支出決算総括表

(単位：円)

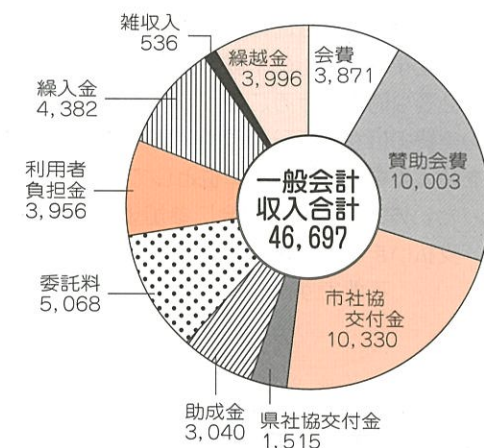
会 計 名	収入決算額	支出決算額	差 引 額	備 考
一 般 会 計	46,697,136	42,236,445	4,460,691	
共同募金配分金特別会計	17,783,690	15,648,562	2,135,128	
善意銀行特別会計	14,815,614	14,815,614	0	積立金 7,821,876
福祉基金特別会計	1,876,030	1,876,030	0	積立金 117,560,567 繰越積立金 444,233
福祉総合相談所特別会計	1,270,030	890,865	379,165	
合 計	82,442,500	75,467,516	6,974,984	

総合貸借対照表

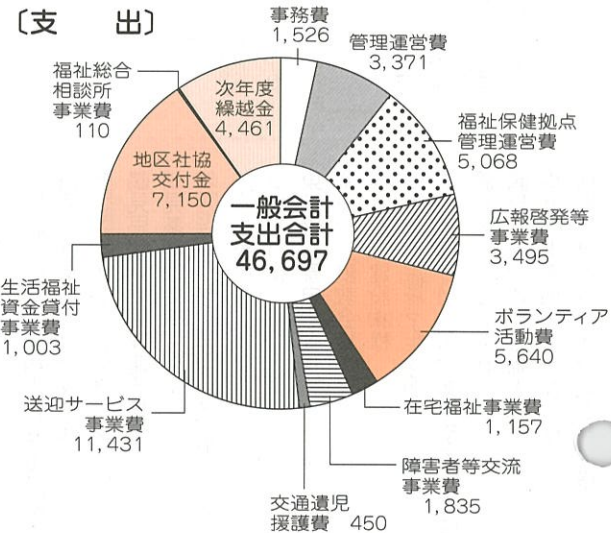
(単位：円)

資 産 の 部		負債・純資産の部	
流動資産	136,313,841	流動負債	3,512,181
預 金	136,303,841	未払金	3,512,181
未収金	10,000		
固定資産	9,861,541	基金	9,861,541
基本財産	3,000,000	基本財産基金	3,000,000
運用財産	6,861,541	運用財産基金	6,861,541
		積立金	125,826,676
		繰越金	6,974,984
合 計	146,175,382	合 計	146,175,382

〔収 入〕 (単位：千円)



〔支 出〕



地区社協活動紹介 (第5回)

生麦第二地区 社会福祉協議会

毎年恒例の「社会を明るくする運動」が、今年も7月21日(土)に警察・消防・寺尾小学校・岸谷小学校・生麦小学校・岸谷ふれあい祭の協力を得て、盛大に実施することができた。

太陽が西に傾きかけた頃、地域内を二班に分かれ、まずパトカーと社明運動のスローガンで飾り付けた車が、マイクで主旨や具体的な方策を呼びかけ先導した。続いて小学校の鼓笛隊、その後に小中学生と父兄。表面に社明運動の主旨と犯罪のない明るい町づくり、裏面に交通安全のイラスト入りのうちわを持ち、道行く人達にもそのうちわを渡し、この運動の気運を盛り上げながらパレードを行った。



パレード

一班は生麦駅辺りから岸谷会館、元・交番跡、岸谷消防署を経由し、岸谷小学校までの1.2kmを500余名が、二班は飯山バス停付近の駐車場から、バス通りを経て国道一号線の陸橋を渡り、一号線沿いに歩道橋を歩き、岸谷消防署を経由し、岸谷小学校までの1.1kmを400余名がパレード行進を行った。



大勢の参加者とパレード

会場の岸谷小学校入口には、防災パネルを31枚展示し、震災・火災の恐ろしさをPR。また、ワールドカップを成功させる鶴見区民の会の旗を要所に10本立て、盛り上げが図られていた。会場の両サイドに岸谷ふれあい祭の模擬店が並び、焼そば・カレーライス・氷水など18店舗が式典後に売り出そうと準備が進められていた。校庭中央部には盆踊り用の櫓が組まれ、その前で生麦中学校プラスバンドが演奏し、パレードの到着を機にさらに一段と音色が響き渡り、猛暑の中をパレードした人達の労を癒していた。

式典は夕方6時から保護司の司会で始まり、主催者の自治連、社協の各地区会長挨拶に続き、区長・警察・消防・保護司の各代表が挨拶。明るい町づくりについての示唆があり有意義に進められた。



式 典

続いてビンゴゲームで、自転車・扇風機・ワールドカップのTシャツなど盛り沢山の賞品が当たり、ティッシュペーパーが全員に配られた。模擬店の味に舌鼓を打ちながら盆踊りに興じ、フィナーレには花火が打ち上げられた。各人が友情と親睦を更に深め合い、地域の一体感を感じながら帰路についたのは、夜の9時を回っていた。

(会長 吉山秀之助)

第4回「つるみ福祉ボランティアアフォーラム」を開催します。

今年度も、鶴見区内で活動しているボランティアの情報交換や交流を図り、連携・連帯を深め、ボランティア活動をよりいっそう活発にすることを目的として、「ボランティアアフォーラム」を11月15日(木)午後1時30分から、鶴見大学会館で開催します。内容については、実行委員会でご検討しています。詳細については、決まり次第広報でお知らせします。

フープロ寄付のお願い

私達フープロ虹の会は、ほとんどの方が中途障害による半身マヒの人達で結成された自主グループです。名前のとおり週一回潮田地域ケアプラザでフープロの勉強をしています。ところが、ほとんどのメーカーは、フープロの製造を中止してしまい困っています。東芝ルポで勉強していますので、ルポのなるべく新しい製品、もしくはハイパーレゼンという機能のついたものを探しています。お家で前記のフープロが眠っている方、是非、ご連絡をお待ちしています。尚、虹の会では、名刺・年賀状等の印刷も承っておりますのでご利用下さい。

フープロ虹の会 会長 中村忠義

511-3469

老人クラブ活動紹介

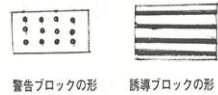
結成二周年を迎えた老人会

鶴見区老人会 会長 遠藤 敏
私たちの町、下野谷町は鶴見川と鶴見線の沿線に位置し、今、都市整備計画にて町は大きく変わろうとしています。河川敷ではウオーキングスーツの色合いも好く、早足の人、牛歩の如く歩みを緩め景色を楽しむ人、夏場にはハセ釣りをする人など、老若男女を問わず一日中賑わっています。健生会ではその憩いの場を中心にして、また前回は臨港鶴見橋も含め、男性会員はもとより自治会員の方々の協力を得て、さわやか運動を実施しています。

昨年の五月の発足ですが、総会・役員会・囲碁・将棋・茶話会・敬老会・昼食会(社協協賛年二回)・歩こう会・新年会など多忙な一年でした。催事では挨拶の後、婦人部役員の見事な司会で盛り上がり最高でした。今年はこれに加え、キリンビール横浜工場・旭ガラス株式会社社京浜工場・スカイウォーク等の見学を予定しています。他に花壇植栽・美化活動と、会員の発想から様々な活動を追加し、会の結成後は活動について語り合っている会員の姿をよく見かけるようになりました。健生会は賛助会員募集中です。2002年には会員数七十を百の台に寄せたいと思います。

見学・お問い合わせ
直接当センターへ
鶴見区福祉保健サービス課へ
鶴見中央3-20-9 鶴見大栄ビルF
☎50412700
中途障害者地域活動センター
ふれんどーる鶴見

利用者さん、大募集！
ふれんどーる鶴見では、利用者の募集をしています。
対象 脳血管疾患の後遺症による中途障害者で、自力通所が可能で40〜60才位の方
活動日時 月々金 10時〜15時半
利用料 月1000円
入会申し込み
鶴見区福祉保健サービス課へ



警告ブロックの形 読解ブロックの形

点字ブロックのお役目は？

「お母さん、点字ブロックはどんなお役目をしているの？」
「鶴ちゃんは見えないから意識しないで歩いているけれど、目の見えない人が一人で歩くときは、白い杖で点字ブロックの形を確かめながら歩いているのよ。あの白い杖が目代わりをしているのね。お年寄りでも杖を使っている人もいますから、区別するために目の見えない人は白い杖を使うの。白杖（はくじょう）の先で誘導ブロック・警告ブロックの区別を確認しながら、歩いているのよ」
「そんなの？でもね、点字ブロックの上に物を置いたり自転車なんか置いてあるのを見たら、良くないことだね」
「そうなのよ。それからね、点字ブロックに黄色が多いでしょ。あの黄色は、お母さんのように弱視の人には助かるのよ。黄色が終ったところは段差だとわかるから、転ばないで安心して歩けるのよ」
「ああそうか、点字ブロックは大切な役目をしているんだね。人の困ることはしないようにしようね」
(鶴見区視覚障害者福祉協会 竹田 久子)



訃報



鶴見区障害児者団体連合会会長であり、社会福祉法人「大樹」理事長並びに社会福祉法人横浜市鶴見区社会福祉協議会理事の小笠原愛子さんが、かねてより病氣療養中のごとく、6月4日関係者一同の祈りも虚しく不帰の人となりました。故小笠原会長は現在のように「共生」という言葉が叫ばれる以前から、障害があっても「地域の中で普通に暮らしていく」社会の実現を目指し、神奈川県養護学校連合会や鶴見区手をつなぐ育成会、横浜市手をつなぐ育成会などで幅広い活動を続けてこられました。そして昨年11月に鶴見区の障害者の福祉拠点「つるみ地域活動ホーム 幹」を起ち上げ、その運営にあたる社会福祉法人「大樹」も設立するという大きな功績を残されたのです。おだやかな中に凛とした強さを秘めた素晴らしいお人柄にただただ頼りきっていた私達の心の中はぽっかり穴が空いてしまいましたが、そのご遺志は微力ながら引き継いでいく所存でおります。
心からのご冥福をお祈り申し上げます。
(つるみ地域活動ホーム 幹 理事 橋口紀枝)

★一歩舎 下木寺2-9-12 ☎5751-2656
一歩舎2号館 ☎5833-6151
★地域作業所 JR鶴見駅から徒歩0分の所へ移転します。
御元宮1-9-36 ☎/fax 573-0009
御鶴見中央1-8-12 ☎/fax 未定
★東寺尾地域ケアプラザ
地域福祉保健活動の拠点として、平成13年9月、東寺尾に地域ケアプラザが開所します。
鶴見区東寺尾1-12-13
☎5841-0129 fax 5701-6202
相談 5841-0299

サルビア

出会いと別れ

障害のある息子を授かったことで、そうでなかった場合と比べて人生はどう違ったか。そんなことを考えることがたまにある。私の場合、彼のおかげで人生の幅が広がったと思う。何より心豊かな人達との出会いが多いのだ。高齢になってもボランティア現役の人、障害を持っていても前向きに生きている人、福祉の向上のために一所懸命な人、彼等と接していると楽しいだけでなく啓発されることも多く、勉強になる。有り難いことである。

最近、鶴見区障害児者団体連合会の仲間との別れが相次いだ。毎月の会議や行事で顔を合わせてきた人達Mさん。ふれあい運動会の後、「楽しかった」と満面の笑みで言ってくれた。運動会に係る者としてこう言ってもらえるのが一番嬉しい。今でも彼女の言葉と笑顔は私の胸の中にある。

Oさん。福祉の発展の為に尽力した大きな存在の方だった。ちょっと聞きたいことがあっても、もう聞けない。残念の一言に尽きる。

人生の折り返し点とはいつに過ぎた私だが、これからは色々な出会いや別れがあるだろう。楽しみでもあるが怖くもある。

(青木洋子)

平成12年度鶴見区社会福祉協議会事業報告

平成12年度は、鶴見区地域福祉活動計画の実施計画に基づいて、各種事業を実施しました。以下、区社会福祉協議会の重点・新規事業を中心に、平成12年度事業の概要を紹介します。

地区社協活動の充実強化と支援

地域福祉活動の充実・強化のため、活動の拠点である地区社協が自主的に効果的な組織活動ができるよう次の事業を支援しました。
・ひとり暮らし高齢者等会食事業
・配食サービス
・ミニデイサービス
・福祉保健講座（11地区で実施）
・子育て支援事業（5地区で実施）
・敬老行事その他各種行事への高齢者招待
・その他各種地区社協事業

小地域活動拠点の支援として、高齢者会食サービス用の備品整備を3地区社協に行いました。
地域で行う各種の行事や事業120件に出席し、地域住民の福祉への理解と促進を図りました。

福祉理解のための広報啓発活動
13年2月17日(日)鶴見公会堂ホールで、第19回鶴見区社会福祉大会を開催しました。この大会で区内の福祉功労者の顕彰と講演を行い、地域住民の福祉の意識啓発を図りました。

福祉広報活動として、広報紙「福祉つるみ」を年2回発行し、全戸配布を行いました。広報紙「区社協だより」を年5回発行し、自治会・町内会を通して回覧しました。その他、区社協パンフレット等の配布等により、広報啓発を行いました。

ました。

福祉啓発講座等の開催

12年11月29日(水)にボランティアフォーラムを開催しました。今回は、基調講演とパネルディスカッションを行いました。
在宅障害者の通院、社会参加活動等のため、並びに小中学校における福祉教育の体験講座のために、車椅子を160回貸し出しました。

ボランティア活動推進事業

ボランティア研修会は、区社協で実施するほか、地域団体・グループ等の研修会・講演会等を支援しました
主なものとしては、この夏、本気でボランティア2000、サマーフレンド事業、ボランティアミニ体験講座、障害児保育ボランティア講座、学校の福祉講座等です。ホームヘルパー養成研修(3級課程)を1回実施しました。

送迎サービス事業については、高齢者や障害者等で、通常の交通手段での移動が困難な方を対象に、福祉保健医療サービス等の利用または社会的活動のための外出を支援し、福祉の向上を図ることを目的として実施しました。
当事者活動の支援と連携の強化
障害児者団体の連携の強化及び自立促進を図るため、連合会を通

福祉総合相談

福祉総合相談は、区民の生活上のあらゆる心配ごとの相談に応じるもので、弁護士、民生委員児童委員が毎月2回相談・援助を行いました。相談時間帯のみ、電話相談も行っています。

福祉保健活動拠点

住民参加による地域福祉活動を積極的に進めていくための福祉保健活動拠点として、64団体の利用登録があり、交通至便で関係者から喜ばれ、活用されています。

加盟33団体に對して助成を行いました。ふれあい運動会、障害児者バスハイク、障害児余暇支援事業を共催したほか、同連合会の自主事業を助成しました。

高齢者福祉事業としては、地域敬老助成事業として、敬老月間(9月)の各地区行事に對して支援しました。

高齢者会食・配食実施団体助成として、14地区社協・6団体に助成しました。

児童福祉事業としては、学童保育事業助成を12団体にいたしました。また、サマーデイキャンプを実施しました。児童と高齢者との交流事業や、子育て支援事業の助成を行いました。

つるみ都市型ふるさとプラン 第2次実施計画を策定しました。

平成13年度からスタートする第2次実施計画の実施に向けて、次のような事業を進めていきます。

☆住民のみなさんが主体となる福祉活動を支援し、ささえあいのまちづくりを推進します。

地区社会福祉協議会活動の充実強化と支援

- 地区社会福祉協議会部会の開催、研修会の開催
- 小地域活動拠点整備の支援
- 地域支えあい連絡会活動の支援

福祉理解のための広報啓発活動

- 福祉広報活動（広報紙、ホームページ、ボランティア情報紙）
- ホームページアドレス <http://www.win.ne.jp/~turumish/index.htm>
- メールアドレス BNG 14 ACY@wamnet.wam.go.jp
- 開設しました！みなさんのアクセスお待ちしております。

☆高齢者や障害者の方々が住みやすい地域づくりを推進します。

当事者（支援を必要とする人々）活動の支援と連携の強化

- 当事者支援のボランティアの育成
- 障害児・者の余暇活動の支援
- ねたきり高齢者・痴呆高齢者の介護者への支援

相談、調整機能の充実

- 福祉総合相談所の機能の充実

福祉ニーズの把握と総合的な福祉情報の提供

福祉関係分野とのネットワークづくり

- 住民参加型福祉サービス団体との連携
- 福祉関係施設との連絡調整会議の開催
- 子育て環境の充実

☆地域福祉活動や適切な福祉サービス提供ができるような体制づくりをめざします。

区社協組織の強化

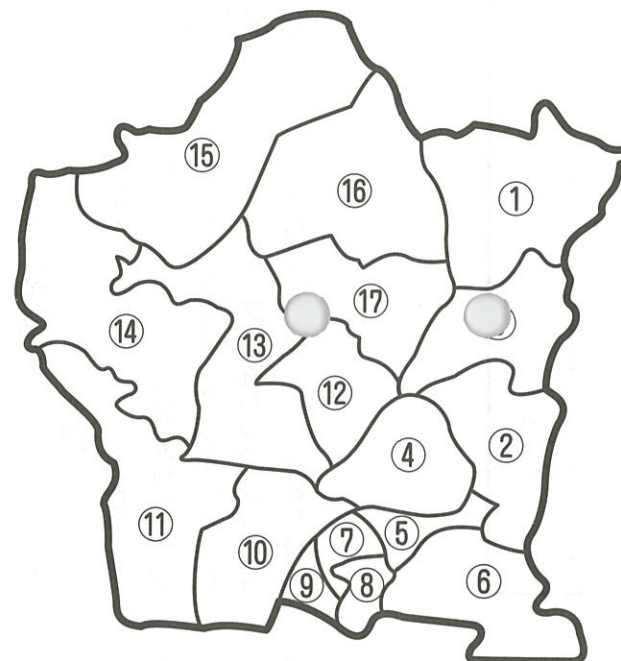
- 情報公開、個人情報保護制度の運用、苦情解決のしくみの運営
- 区社協役員研修会の開催
- 職員の資質向上

区社協活動拠点の運営

安定財源の確保

- 福祉基金の充実、賛助会員の拡充

地区社会福祉協議会



- ① 矢向地区
- ② 市場地区
- ③ 市場第二地区
- ④ 鶴見中央地区
- ⑤ 潮田中央地区
- ⑥ 潮田東部地区
- ⑦ 潮見橋地区
- ⑧ 潮田西部地区
- ⑨ 小野町地区
- ⑩ 生麦第一地区
- ⑪ 生麦第二地区
- ⑫ 豊岡地区
- ⑬ 寺尾地区
- ⑭ 寺尾第二地区
- ⑮ 駒岡地区
- ⑯ 上末吉地区
- ⑰ 下末吉地区

☆ボランティア活動を推進します。

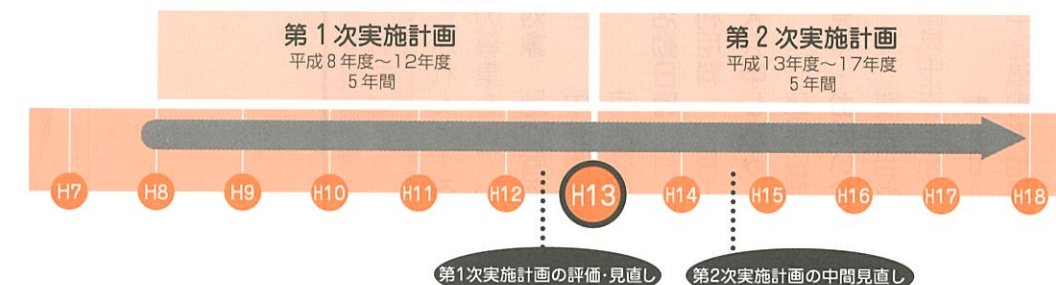
ボランティア組織の充実強化と交流の促進

- ボランティアセンターの充実
- ボランティア登録、需給調整等の充実

地域福祉活動をささえるボランティアの開発・育成

- ボランティア講座の体系的な開催による育成
- 福祉教育（中・高校生の体験学習等）の充実
- ヘルパー養成研修の実施
- 送迎サービス事業の拡大

地域福祉活動計画 基本計画（10年間）



「地域福祉活動計画」は、地域のさまざまな福祉課題に対し、地域の誰もが「自分の地域は自分たちでよくしていこう」という考えのもと、計画的に地域福祉に取り組むために策定されたものです。

この計画は平成8年度に作られ、5年が経過しました。当初の計画から社会状況も大きく変化し、昨年度は、介護保険制度の発足や社会福祉法の誕生など、これまでの社会福祉制度を根幹から変更する大改革が行われました。

これまでの5年間の歩みを振り返り、充分推進できなかった点や、もっと充実する点を明確にし、平成13年度からの5年間の地域福祉推進の指標となる「鶴見区地域福祉活動計画・第2次実施計画つるみ都市型ふるさとプラン2」を策定しました。

しかし、社会福祉法の制定により、2003年（平成15年）には「地域福祉活動計画」を策定することになっている行政の動き、2003年（平成15年）から導入される、障害者福祉制度にかかわるサービス提供機関等の整備など、予測がむずかしく、実施計画のなかに組み入れられず、多くの課題を残しています。

そこで、2003年までの2年間を見直しの期間とし、皆様のご意見をいろいろとお聞きし、様々な福祉団体と意思疎通を図りながら、鶴見区の新しい福祉を推進して行きますので、ご意見をお寄せ下さいませようお願いいたします。

<基本理念・基本目標>

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指します。

～都市型ふるさとづくり～

- ☆ここから豊かなまちづくりを目指して、ささえあいのまちづくりを進めます。
- ☆地域住民が参加する、福祉のまちづくりを進めます。
- ☆安らぎと交流の援助システムをつくりまします。
- ☆地域福祉活動や適切な福祉サービスを提供できるような体制づくりをめざします。

社会福祉協議会ってなあに？

すべての人が安心して暮らせる「福祉のまちづくり」をめざし、地域の福祉問題を、地域のみなさん一人ひとりが知恵と資金を出し合って、解決していくための活動を展開する民間の団体です。略して「社協」(しゃきょう) といいます。